

報道関係各位

2018年6月8日

## クラウド型次世代 BIM サービスを活用 先端建設プロセスレンタル事業を開始！

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人、以下アクティオ)は、株式会社アイネット(本社：横浜市西区、代表取締役社長：梶本繁昌、以下アイネット) および、ペーパレススタジオジャパン株式会社(本社：港区、代表取締役 勝目高行、以下ペーパレススタジオジャパン)の2社と協業し、設計・建設業ユーザー向け次世代 BIM<sup>※1</sup>プラットフォームサービス「アーキシンフォニーVBP<sup>※2</sup>」を活用した『先端建設プロセスレンタル事業』を2018年秋以降順次開始いたします。

### ■3社のこれまでの経緯

次世代 BIM を活用した『先端建設プロセスレンタル事業』は、建設機械レンタル最大手のアクティオと、国内最大級の BIM コンサルティング実績をもつペーパレススタジオジャパン、最高レベルの安全性を備えたクラウドサービスを提供するアイネットの3社が協業し、それぞれの強みを生かしたサービスです。

クラウド・データセンターサービスを提供するアイネット社とペーパレススタジオジャパンは、2017年に仮想環境クラウドで BIM データを共有する、コラボレーション型クラウドサービス「アーキシンフォニーVBP」で協業を開始しました。「アーキシンフォニーVBP」は、クラウドや VDI などのリソースを生かしたコラボレーション専用クラウドで1GPU(画像処理半導体)仮想化技術をリードするエヌビディア、VDI<sup>※3</sup>技術に強みをもつVUEMウェア2社の技術協力を得て運用しています。

また、一方でアクティオは、アイネットが2017年9月に千葉県君津市に開設した首都圏最大(140,000㎡)の無人航空機(UAV<sup>※4</sup>)全天候型飛行場「Dream Drone Flying Field」(DDFF)と連携しUAVを活用したICT施工の研修を行っています。

アクティオ、アイネット、ペーパレススタジオジャパンの3社は、BIM/CIM<sup>※5</sup>、i-Constructionの観点から3次元データを活用した建築と土木の新たな生産性向上の取り組みをはじめています。

※1 BIM (Building Information Modeling) は、コンピューター上に作成した3次元デジタルモデルの建物に、コストや作業工程、管理情報などの属性データを収集し、建築物のデータベースを用いて建築の設計・施工・維持管理まで、あらゆる工程で情報活用を行う方法を指す。

※2 アーキシンフォニーVBP (Virtual building point) は、建設設計データをリアルタイムに共有できるコラボレーション専用クラウドサービス。

※3 VDI (Virtual Desktop Infrastructure) は、仮想デスクトップのこと。サーバー上に個々のデスクトップを構築しておき、社内外のパソコンから利用できるようにするもの。

※4 UAV (Unmanned Aerial Vehicles) は人が搭乗しない無人航空機のこと。

※5 CIM (Construction Information Modeling) は、3次元の設計手法。3次元モデルを中心に関係者間で情報共有することで一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るもの。

### ■『先端建設プロセスレンタル事業』の4つのレイヤー

今回の3社の技術やノウハウを結集した『先端建設プロセスレンタル事業』の事業概念は、4つのレイヤーで構成されます。一番上の「情報インフラ」が、i-Con データストレージプラットフォームや BIM/CIM データマネジメントプラットフォームと呼ばれるデータを蓄積するレイヤーです。その下に「運用ノウハウ」があり、UAV 測量訓練、BIM/CIM 教育、運用ルールの整備などを担います。それを支えるのが「高度人材」です。さらに、最もベースとなるレイヤーが「ハードウェア(最新測量機器からIoT建機まで)」になります。

BIMのコンサルティングや人材供給、クラウドサービス、ICT機材レンタルなど3社の得意分野で分担し、お客様の会社や現場の規模などに合わせて4つのレイヤーを適切に組み立て提案していきます。

## ■提供するサービスのポイント

アクティオ、アイネット、ペーパーレススタジオジャパンの3社は、建物が建つ前段階のバーチャルな設計 BIM と、リアルな情報を扱う施工 BIM を実際に融合させ、現実的に最適化していく事をテーマに、現在、新たに建設中のアクティオ八街工場の新築工事で UAV と BIM、クラウドを組み合わせた実証実験を 2018 年春からスタートしています。

実証実験では、自動航行プログラムで毎日現场上空に UAV を飛行させ、3次元測量で空撮して施工現況モデルを作成し、このモデルに3次元設計 BIM モデルを重ね合わせます。工事の出来形や設計モデルとの不整合、進捗状況を見える化し、高精度の施工につなげるとともに日々作成する3次元データを蓄積していき、3次元モデルの作成やデータの蓄積をクラウド上で一元的に行い、データの分析などに役立てています。

また、UAV で手間をかけずに施工のエビデンスを残すことで、竣工後の維持管理だけでなく、建物のファイナンスなどの付加価値を与えることができます。さらに、施工データを蓄積した BIM モデルを建物の品質証明に活用することで、リートなど建物を証券化する際に、投資家に価値の説明が容易になり建物に保険をかける際の査定の根拠にもなります。

この一連の実証実験のデータ収集を効果測定した結果、高いサービスをご提供できると判断し、今回のサービス開始にいたしました。

アクティオは、この『先端建設プロセスレンタル事業』を展開することで、労働人口の高齢化や人手不足、不動産市場低迷の 2020 年問題など社会的課題の解決にむけ、従来の建設業界のビジネスの枠を越えたサービスをお客様に提供していきます。

## ■株式会社アイネット様からのエンドースメント

株式会社アイネットは建設機械レンタルのリーディングカンパニーである株式会社アクティオ様の「i-Rensulting」推進に共感しています。アイネットは国内最高水準のデータセンターを基盤に、建築業務におけるドローン工事進捗データの収集・確認、vGPU クラウド基盤上で稼働する BIM データの利活用といったサービスをラインアップいたしました。アクティオ様の市場基盤・業界ネットワークを活かされた「先端建設プロセスレンタルサービス事業」の協業は販売×ソフト×クラウドサービスで特徴のある3社が連携するものです。我々のサービスは建設業界の皆さまの業務革新において、大きく貢献できると期待しています。

株式会社アイネット 取締役副社長 田口勉様

## ■ペーパーレススタジオジャパン株式会社様からのエンドースメント

日本の BIM は、世界に大きく遅れをとっています。アメリカやイギリス、シンガポールなど先進国においては国家レベルで導入が加速しています。韓国、中国、台湾等、アジア諸外国においても日本より普及が進んでいます。この度、株式会社アクティオ様と株式会社アイネット様と協業し、全国の建設関係者へその大小を問わず『先端建設プロセス』をレンタルで提供できることは、日本の BIM 普及に大きな弾みをつけられる意義ある事業であると確信しています。少子高齢化時代を向かえもう一度、新しいテクノロジーである ICT を活用し『日本のモノづくりの根本を改革していく』、そんな強い意志を持って、この事業に取り組んでいく所存です。3社が協業できたことを心より感謝します。

ペーパーレススタジオジャパン株式会社 代表取締役 勝目高行様

## ■ アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポート

します。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 営業企画部広報課 担当：進（しん）、成澤（なりさわ）

TEL:03-6854-1414 FAX:03-6854-1436 e-mail : [aktio-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:aktio-pr@kyodo-pr.co.jp)